

ぽっかぽか12月

～年長の劇のねらい「劇作り」～

年齢によって「劇」に対するねらいが大きく変わります。年少時は、舞台に立つ、セリフをいうことが大きな目標でした。遊びの延長として行う「劇遊び」です。

年中の劇のねらいは「みんなで一つの劇にしよう」と、協力することと、役割を理解して友達と一緒に前を向いてセリフを合わせていうことを目標とする、いわゆる役になることを楽しむ段階の「劇ごっこ」です。そして年長は、自分たちで「劇」をつくっていく「劇づくり」。年少・年中と大きく異なるのが、「子ども達が」主「となる」ことにあります。決められたことをするのではなく、「考える」。そして、「創造する」。どんな流れで劇づくりを進めていったかを紹介します。

もうすぐやってくる子ども会！運動会の時に感じた達成感、成長する喜びを、次の行事でも感じられたらいいなと思っています！

劇 くわれたちともだち

劇作りは①劇決め＆配役 ②衣装・道具づくり ③セリフづくり（台本）④動き・表情づくり⑤仲間と一緒に劇をつくりあげる という流れで進めてきました。

その中でも特に子ども達がメインになって進めてきたポイントが次の3つです(^^)

台詞を考えてみよう！

今年は、最初に子どもたちに伝えた台本に「セリフがない」部分がいくつかありました。これは新たにセリフづくりをするためです。「この役ならこの時になんて言うと思うかな？」と、役の気持ちになって一生懸命考え、子ども達同士で相談して決めていきます。練習を繰り返すうちに、どんどん役の心情がわかるようになり、台詞も変わっていきました。自分達の言いやすい言い回しを考え、話し合いをして一つの事を決める『協同』が台本作りにも生かされています。



相談しながらいろんな表現を楽しもう！

セリフに合う「動き」を考え表現します。もちろん、お手本はありません。言葉のイメージを身体で表現することは豊かな「創造力」と「想像力」が必要です。また、他の人が見てもわかりやすいようにするために、どんな風に伝わるか客観的にみる視点も養われます。動きと表情づくりにはいろいろな力が必要ですが、友達のいいアイディアを「それいいね！」と素直に受け入れたり、「ちょっと変じゃない？」と自分の気持ちを素直に伝え合い、「動きを考える」という共通の目的に向かっているのです。以前は意見が異なるとなんとか自分の意見を通そうと感情的になりました、衝突したりすることがありました。しかし、最近は「どうしたらしいか」という未来の質問を相手に投げかけられるようになってきています。感情的にはならず、解決策を自分達で探せるようになったので、自分の意見をきちんと相手に伝え、相手の意見も受け入れられるといった、まさに「健全な話し合い」ができるようになってた。これは大きな成長だと感じています。

みんなで作り上げよう！

舞台での姿勢・声を揃えること・出番がわかるなど毎日ステップアップしながら練習をしています。そして練習を通して友達や他クラス、大人の反応を反映し、表現方法を修正したりしながら劇をつくっています。

本番までたくさん表現方法を試し協力しながら劇をつくりあげてほしいです。内容は、みなさん知っている原作とは違います。らいおん組ならではの『われたちともだち』を楽しんでください♪

「こどもかいのうた」



歌って踊って大盛り上がり！「こどもかいのうた」は、作詞・作曲 こばと会理事長元井由隆 のオリジナルソングになります。そのため、卒園児が就学した後、友達に歌ってもらえない！という話もありました。毎年恒例で子ども達が大好きな歌です。子ども会のオープニングを飾る1！はじける笑顔を記憶にも記録にも残してあげて下さい！！！！

「ドレミのうた」



「楽しい音楽」の発表として披露します。ドレミの歌を選曲している理由は、「子ども達に 音には‘音階’があることを知ってほしい。」という今泉りえ先生の想いがあります。毎年異なるアレンジでの発表なのでお兄ちゃんお姉ちゃんがいるご家庭でも違った良さを味わえること間違いなしです。先生も毎回、情熱的に歌を教えてくれています。進化したドレミの歌、今回は最後に披露です！どうぞお楽しみに♪